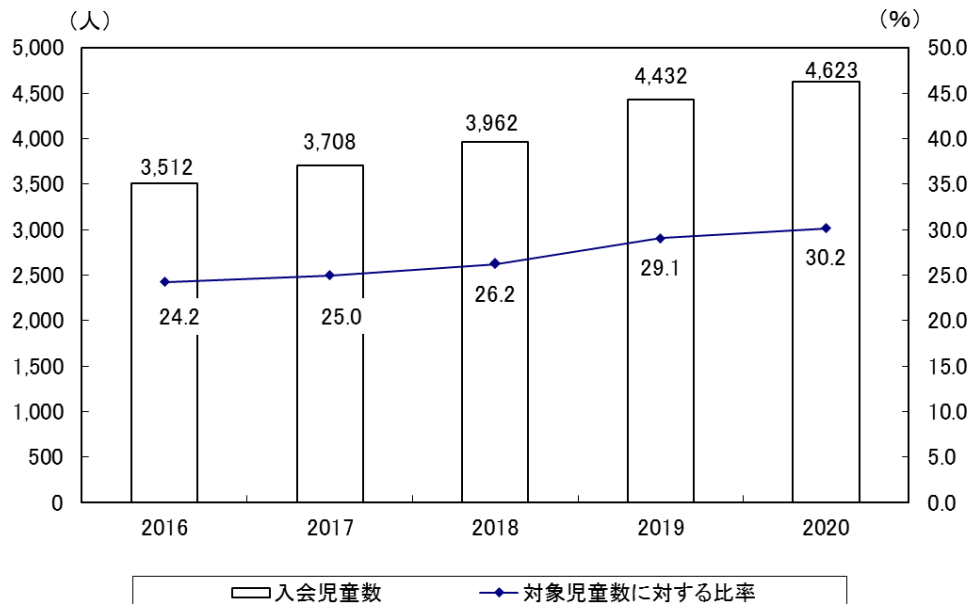


VII. 学校を拠点とした放課後の子どもの居場所づくりの充実（新・放課後子ども総合プラン★）

（1）放課後子どもクラブ及び地域子ども教室の運営

放課後子どもクラブ入会児童数の推移



資料：豊中市教育委員会学び育ち支援課調べ（各年 5 月 1 日現在）

※対象は、平成 24 年度（2012 年度）までは小学校 1～3 年生。平成 25 年度（2013 年度）から 4 年生まで拡大。

※平成 25 年度（2013 年度）から入会率については母数に支援学級児童数を含んで算出。

とよなか地域子ども教室（※1）の状況

年度	2016	2017	2018	2019	2020
箇所数(力所)	41	41	40	40	39
(上段:小学校区)	41	41	40	40	39
(下段:公共施設)	0	0	0	0	0
延べ参加者数(総数:人)	140,303	126,386	110,078	102,427	14,003
延べ参加者数(子ども:人)	96,860	97,743	87,249	80,958	11,122
延べ参加者数(大人:人)	43,443	28,643	22,829	21,469	2,881

資料：豊中市教育委員会学び育ち支援課調べ

※1 地域子ども教室：学校や公共施設を活用して、安心・安全な居場所（活動拠点）を設け、子どもたちが放課後や週末等に地域の大人と交流しながらスポーツや文化活動など様々な体験活動を行っている。

※ 平成 16 年度（2004 年度）から平成 18 年度（2006 年度）は国委託事業。平成 19 年度（2007 年度）からは国・府の補助事業、平成 24 年度（2012 年度）からは国の補助事業となり、小学校を中心に事業展開を図るなど制度変更あり。

(2)両事業の一体型運営の取組み

地域子ども教室につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催規模の縮小や中止により開催数や参加者数が例年より減少したものの、各小学校区において、地域のボランティアにより安全・安心な居場所づくりとして、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取組みが行われました。活動を通じて子どもたちが地域の大人たちと交流し、地域でのつながりづくりの機会となりました。

新型コロナウイルス感染症の予防を徹底しながら通常開設していた放課後こどもクラブとの連携の機会は限られていましたが、学校を拠点とした地域社会全体で子どもたちの学びや育ちを支える環境づくりを推進するために、地域子ども教室と関連する、放課後こどもクラブ事業、放課後の子どもの居場所づくり事業の連携、効果的な組み合わせを検討することにより、子どもたちの居場所の充実を進めます。

(3)放課後の子どもの居場所づくり事業

すべての就学児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、各校に見守り員を配置し、給食実施日の授業終了後の校庭開放事業を実施しました。

全校実施に向け、順次推進するために、令和2年度(2020年度)は、合計10小学校で実施しました。

■放課後の子どもの居場所づくり事業実施校(小学校)

2016年度	大池
2017年度	大池、野畑、西丘
2018年度	大池、野畑、西丘、寺内
2019年度	大池、野畑、西丘、寺内
2020年度	大池、野畑、西丘、寺内、豊島西、桜井谷、東丘、高川、刀根山、新田南